



## ニカラグア通信 vol.1 (2004/4/11到着)

歯科技工士 渡辺敬三

ついにやって来ましたニカラグア。日本からアメリカ・ヒューストンまで約12時間、アメリカからニカラグア・マナグアまで約3時間、合計15時間でやっと日本の反対のニカラグアに着きました。機内では高田パコとずっと隣だったがとにかく彼女は元気、彼女は機内でアルコールを頼みすぎてスチュワーデスに「何杯注文すれば気が済むのか？」と怒られたり、暇だから何かディベートしようなどと俺に振る。俺としては眠いんだけど少しはほっといてくれと言いたくなる。とにかく終始パワフルで笑いを提供してくれる彼女は15-3ニカラグア隊の中で稀有な存在である。

着いた感想はとにかく暑い。夜の8時だというのに気温33度、現地の調整員の話によればこれから日々、気温と湿度が上がっていくとのこと。軽くブルーになる。

あくる日の今日は日曜日であるため訓練は無し。ホテル近くの隊員連絡所で先輩隊員と会いニカラグアの情報を仕仕入れる。明日からサンマルコスに移動して現地語学訓練が始まる。駒ヶ根以来スペイン語を勉強してないためあせる。まずいなーこれから勉強しよう。

Vamos a estudiar！！





今ここサンマルコスで毎日スペイン語の現地訓練をしています。内容は基本的にKTCの復習で、より生活に密着した会話練習がメインでやっています。

ここサンマルコスはニカラグアでは信じられないくらい涼しくて、特に教室は風通しが良くて、久美子ちゃんと一緒だけど二人とも寒くて長袖を着るくらいです。

俺のホストファミリーはお父さん、お母さん、二人の娘の4人家族で良くしてもらっています。特に二人の娘はそれぞれ10歳、13歳でmuy bonita!! そのことを恵子ちゃんに言うと少ししつこかったせいか、軽く変態扱いされる始末。

毎日授業の後みんなでビールを飲みにいったり、それぞれのホストファミリーと係わりのある現地の人にアクセサリー作りを教えてもらったり、地元の大学に行ってみんなで「涙そうそう」を歌ったりなんだかんだしながら楽しくやっています。

先日はサンマルコスでフェスティバルがありみんなでディスコに行ったけど、いろんな意味でえらい疲れた。と言うのもニカラグアンセのアプローチが凄くて、日本人の女の子が好きなのか代わる代わる地元の男どもが踊ろうと誘いに来る。みんなその度に俺のことを恋人だと言って、俺にふるから野郎どもから軽く敵意のこもった挨拶をされる。この俺がそんなにもてる訳ないだろと心の中で突っ込みながら、自分は望まないのにここサンマルコスで敵を作っているようで軽くブルーになる。

これも年長者としての役目かなんて思って自分を慰めています。

まあ何にしても15-3 ニカラグア隊みんな元気でやっているからいいかと思う今日この頃です。

スペイン語漬けの毎日で、将来俺がもし世界の支配者になったら日本語しか使えない世界に、必ずしようと硬く心に誓う渡辺敬蔵。



## ニカラグア通信 vol. 3

歯科技工士 渡辺敬三

みんな元気でやっていますか？ 僕はとりあえず身体は元気です。ホストファミリーのママに「町の屋台で売っている食べ物は危ないから食べないように！ 私達も食べない！」と釘を刺されていたにも係わらず、時々腹が減って食べていましたが幸か不幸か全然平気でした。ほかの隊員のみんなはニカラグアに来て最初少しおなかがゆるくなったようですが、僕にはまだその洗礼が来ていません。これから来るのか、来ずに2年間終わるのかまだ判りません。

サンマルコスは何もない町ですが、とても涼しく過ごしやすいい町でした。現にどの家もエアコンなんて皆無だし、僕の家には扇風機もありません。

サンマルコスの町の人々に任地レオンの事と聞くと皆口をそろえてとにかく暑いとしか言いませんし、あんな暑い町に赴任するなんて可愛そうとまで言う人がいる始末。

ニカラグア部隊12名全員元気です。先日学校でニカラグアと日本の食事をそれぞれ作り紹介する会を行いました。我々日本人がものすごい勢いで日本食ばかり食べた為これでは文化交流にならないと心の中で突っ込んでしまいました。(おいおい！！でも美味かった！！) みんな日本食に飢えています。食欲旺盛で元気です。あとサンマルコスで日本の文化を紹介するイベントを近くの学校で開催したり、みんなで日本食を作って食べたり、ニカラグアンセの女の子の誕生日会に出席したり、みんなでやってきましたが隊員のみんなとも別れてそれぞれの任地に赴任します。

僕も日本の歯科関連の出版社・メーカー・台湾の技工工房から足りない材料を送ってもらえるようにコンタクトを取ったり、協力活動をより有益なものにするため下準備をしている所です。

なんといっても協力隊の中で「歯科技工士」で活動している人間は僕しか居ないため、仕事での技術的な内容を日本語で相談する相手が居ないのは少し不安です。独自で情報収集するための種を撒いているって感じかな。花が咲くかはまだ判らないけどね。

でも今知識が無くても、知識を得る方法を知っているだけでもアドバンテージを得ることだし、知識と技術があれば組織の中でイニシアティブを執りやすいからね。

いよいよここサンマルコスでの語学研修も終わり、5月14日に任地レオンに赴任します。

正直不安ですが、自分の居場所ができるのはうれしいです。ただ本当の意味で仕事のポジションを獲得できるかこれからの行動次第ですよ。

これからいよいよ本格的に協力活動の開始ですが、あんまり気負わずぼちぼちやっついていこうかなといった感じです。

そちらの状況なんかもまた教えてください。

せっかく駒ヶ根で7キロ痩せたのに、ニカラグアで少し太ってしまった渡辺敬蔵



## ニカラグア通信 vol. 4

歯科技工士 渡辺敬三

みんなは元気に仕事していますか？ いよいよ仕事先に配属になり、不安緊張、期待や失望などが入り乱れてるんじゃないですか？

僕も例に漏れずいろいろな感情が入り乱れています。

僕の配属先はニカラグア唯一の歯学部があるレオン自治大学のラボラトリオです。そこには僕よりも年上の技工士暦何十年の陽気な3人のおっさん達と働いています。

職場の上司の要望はこの陽気なおっさん達に、週一回一時間講義し普段仕事でも助言して金属床の義歯(入れ歯)と陶材の差し歯の作り方を教えること。また歯学部の学生と一緒に実習しているので、患者に対しての型の取り方、技工操作の指導。大学の講義をひとコマ受け持ち講義すること。将来技工士養成講座開設予定につき、その計画立案に参加すること。など多岐に渡り実力が試されています。

後半の大学講義などはとても今はできないけど、今は目の前の問題を少しずつ解決していこうかなと思っています。

ただ今はまだのんびりしていますね。というのも配属初日からストの影響で学校が閉鎖され仕事があまりできない状況です。このストは政府の学校予算削減に対してのデモ活動で、首都マナグアでは死人がでて毎日ニュースで報道されています。

また日本からニカラグアに来る前に航空便で仕事道具を送ったのが最近やっと届いて、それまで仕事があまりできませんでした。

実際予想したようにここではマンパワーとしての貢献ではなく、指導する立場におかれているため仕事の後は勉強の毎日です。

レオンはちょっとした観光地でカテドラル(教会)が多く結構きれいで、ニカラグアの中でも治安が良いため、夜11時頃でもひとりで歩けます。中々洗練されている店も多く、任国外旅行で来る際お勧めかも。

新しいホームステイ先は、ママ・息子二人(19歳・14歳)・娘一人(18歳)の4人家族です。今度のホームステイ先は飯が美味しい。飼っている犬・パピー(2歳)が超かわいいし、犬と子供達がよく僕と遊んでくれます。

休日は家族と過ごすことが多く、ママが経営している牧場でピクニックと乗馬をしたり、映画を観にいたりビリヤードをして過ごすことが多いかな。正直言ってサンマルコス家族よりいいね。夜帰ったら鍵掛られていてはいれなかったり、突然日曜日に家族ででかけるから僕一人どこかで時間をつぶすよういわれたりしないからね。

実際ママはよく他のコペランテを知りたいらしく、よくつれて来いと言われる。みんなレオンに来た際は僕んちによって、世界一かわいいパピーと遊んで下さい。

また時間がある時にそちらの状況もお知らせ下さい。

スペイン語で指導することに冷や汗タラタラの渡辺敬蔵



みんなは元気に仕事していますか？ いよいよ仕事先に配属になり、不安緊張、期待や失望などが入り乱れてるんじゃないですか？

僕も例に漏れずいろいろな感情が入り乱れています。

僕の配属先はニカラグア唯一の歯学部があるレオン自治大学のラボラトリオです。そこには僕よりも年上の技工士暦何十年の陽気な3人のおっさん達と働いています。

職場の上司の要望はこの陽気なおっさん達に、週一回一時間講義し普段仕事中也助言して金属床の義歯(入れ歯)と陶材の差し歯の作り方を教えること。また歯学部の学生と一緒に実習しているので、患者に対しての型の取り方、技工操作の指導。大学の講義をひとコマ受け持ち講義すること。将来技工士養成講座開設予定につき、その計画立案に参加すること。など多岐に渡り実力が試されています。

後半の大学講義などはとても今はできないけど、今は目の前の問題を少しずつ解決していこうかなと思っています。

ただ今はまだのんびりしていますね。というのも配属初日からストの影響で学校が閉鎖され仕事があまりできない状況です。このストは政府の学校予算削減に対してのデモ活動で、首都マナグアでは死人がでて毎日ニュースで報道されています。

また日本からニカラグアに来る前に航空便で仕事道具を送ったのが最近やっと届いて、それまで仕事があまりできませんでした。

実際予想したようにここではマンパワーとしての貢献ではなく、指導する立場におかれているため仕事の後は勉強の毎日です。

レオンはちょっとした観光地でカテドラル(教会)が多く結構きれいで、ニカラグアの中でも治安が良いため、夜11時頃でもひとりで歩けます。中々洗練されている店も多く、任国外旅行で来る際お勧めかも。

新しいホームステイ先は、ママ・息子二人(19歳・14歳)・娘一人(18歳)の4人家族です。今度のホームステイ先は飯が美味しい。飼っている犬・パピー(2歳)が超かわいいし、犬と子供達がよく僕と遊んでくれます。

休日は家族と過ごすことが多く、ママが経営している牧場でピクニックと乗馬をしたり、映画を観にいたりビリヤードをして過ごすことが多いかな。正直言ってサンマルコスの家族よりいいね。夜帰ったら鍵掛られていてはいれなかったり、突然日曜日に家族ででかけるから僕一人どこかで時間をつぶすよういわれたりしないからね。

実際ママはよく他のコペランテを知りたいらしく、よくつれて来いと言われる。みんなレオンに来た際は僕んちによって、世界一かわいいパピーと遊んで下さい。

また時間がある時にそちらの状況もお知らせ下さい。

スペイン語で指導することに冷や汗タラタラの渡辺敬蔵





みんな元気で仕事していますか。最近の僕はニカ人上司に提出する提案書の作成に追われています。もちろんスペイン語です。なぜかと言うといろいろ考えた結果、同僚の3人のおっさんを直接教育するよりは(いやな言い方ですが)、上司を口説いたほうが良い結果を得られると踏んだからです。詳しい内容は次号にて。

当面の行動指針としては、

- ①全体的な治療の流れを把握すること、
- ②毎日自分で臨床の技工操作を行い、自分のやり方とニカのやり方の違いと結果を示す。
- ③まずニカの技工のやり方をこちらが学び、材料・施設・技術レベルを把握した上でこちらのやり方を提示し(決して相手のやり方を否定しない)、改善していく。といった感じで考えています。

問題は山積しており大きく分けて2つあります。今は金属床義歯(入れ歯)の仕事が多いですが見るに耐えないような義歯ばかりです。特に義歯の鑄造方法とデザインが悪く金属が変形しているため、完成しても患者の口腔内に適合しないまた噛むことができない義歯ばかりで患者がかわいそうです。はっきり言って入れないほうが良いんじゃないかなとさえ思います。基本的な技巧操作の知識が歯科医・技工士にないため、良くないことは判っていても改善する方法を知らない、また応用が利かないといった状況だからです。

もう一つは組織的な問題で、技工物を納品する前にチェックする人間がいなかったため、品質が一定しないことです。当然製造業の世界では品質管理が重要で、管理責任者がいないなんて考えられないことです。この二つの問題を最終的に患者が背負わされるなんて、医療従事者として悲しくなります。

当大学がニカラグア唯一の歯学部ため、この知識のない人達がさらに知識のない医学生達に教えていて、歯科医を大量生産しているかと思うと空恐ろしくなります。UNAN(国立レオン自治大学)の歯学部は有名でここで働くこと、この歯学部卒であるということはニカではかなりのステイタスです。エリートが集まりますし、友達のニカ人もこの大学に入りたいと言っていました。学生もプライドを持っているように思いますが、僕としては内容が判るだけにうーんどうかなって感じですね。ただこういった所はインテリヘンテナ人も多く、ドクターと話すときは英語を使うことが多いですね。だから時々英語とスペイン語がごっちゃになってしまいます。

英語と言えば台湾の技工ラボの社長からメールが来ていましたが、向こうのパソコンが日本語を使えないので英語でした。内容は今年の10月に上海で新しくラボを立ち上げるため暇だったら遊びに来いとありますが、行けるわけがないでしょと怒りながら返事しました。ただ最後に余った技工材料を送ってくれると事、謝謝です。

日本では考えられないほどレベルは低いですが、技工士自体の能力は決して低くはないと思います。例えば基本的なワックス操作(ロウソクみたな物で色々形作ること)など時々目を見張るものがあります。

元々のポテンシャルはあるけども、材料・機械・知識がないためやってかなかった(少し言い訳に聞こえるが)、また改善する機会がなかったんだと思います。

ですから着任当初はのんびり様子を見ながらやっていこうかと思っていましたが、おっさん達から何故失敗するのか質問されることが多く、こっちも仕事後家で勉強して知識武装する毎日です。この時は技術職でよかったと思いますね、なぜなら言葉が通じなくても相手の言いたいことがなんとなく判るからです。

こちらはこんな感じでまあぼちぼちとやっています。時間があればそちらの状況もお知らせ下さい。

毎日おっさん達や医学生達からスペイン語のプレッシャーを受けている渡辺敬蔵



みんな元気で仕事していますか？僕は今指導することでいろいろ思案中です。以前お知らせした通り上司の要望は3人の技工士に技術を指導する事ですが、難しいですね。というのも3人とも僕よりも年上(みんな50歳ぐらい)で職歴も長い人達なのでやはりプライドがあり、僕みたいな若造(あくまで相手の主観です。)に指図されたくないといった感じかな。職人は何処の国でもプライドが高いですから。いい物を作ろうとするとどうしても3人がいままでやってきた方法を否定してしまいがちになります。

それに50代の職人がいまさら新しいやり方に変えることに納得するかといったら、常識的に考えて否でしょう。だって物が悪くても今まで何とかなってきたわけですから。

とにかく作業が雑で手を抜き適当な感覚と経験で行う為、結果として適合の悪い義歯しかできない。全てのことで言えると思いますが、いい仕事をするには正しい知識を持って、丁寧で確実な過程を踏むことが最重要だと思います。

技工操作を教えてもその時は判ったと返事するけど、実際臨床で応用しようとしなかつたりしてこれじゃ意味ないなと思います。というのもこの仕事は技工操作・医療知識が備わった上で、臨床経験を積んで応用力を高め、技術を勝ち得ていくことが必要な仕事です。技術は一朝一夕に身に付きません、失敗しながら少しずつ学んで行かないとだめです。

ただこんなことは最初から予想していたことなのでそれに対しての方策を実行中。何かにつけお金が無い・材料が無いといい自分の論理を正当化しますが、例えばそこにある物を利用して手間をかけてラボの状況にあった、今までよりもいい物を作ることは可能なのです。その事を教えたいと思っています。

どんな仕事でも一緒だと思いますが、結局仕事は結果が全てだと思います。だから今は僕のやり方だといい義歯ができることを示し、相手を納得させることが重要かなと思います。人は言葉では動かないですから、良い結果を提示することが今の僕には最大の抵抗かな。

相手のモチベーションを高め、やる気を起こさせることに比べると、技術や知識を教えることは簡単です。逆にやる気の無い人間に物事を教えるのは無意味です。今はいかに相手を学びたい気にさせるか思案中です。まあ時間がかかるのは当然です。このおっさん達の気持ちを変えるのに半年ぐらいかかるかも。こういった組織の中でイニシアティブを執ろうとしたときには、協力隊的な熱い気持ちよりももっと冷徹でロジスティックな思考と行動が要求されるので、いろいろな力関係を利用し相手をその気にさせることを少しずつ実行しています。回りを巻き込んで回りから変えていったほうが良いと思います。

その一環として7月中に僕が講師になって技工講座を週4回開催する予定で動いています。内容や理由などについてはまた次号にて。

まあ土佐っ子の心意気を見せたらんかいって感じ。オーケストラの時みたいに最後にでっかい花を咲かせたいね！！だけどゆっくりとあせらず確実に。

最近根回しばかりしていて、自分の中の悪魔的な部分が確実に大きくなってきている渡辺敬蔵



こんにちは。みんなは元気になっていますか？僕は今前回お知らせした講義の準備で毎日忙しくしています。

当然講義内容はスペイン語で専門用語満載だし、実習についても足りないものが多く準備に忙殺されています。だって講義は最初週一回の約束のはずが、カウンターパート(陽気な技工士3人組のおっさん達)の希望により週4回に増えた訳で当然忙しくなります。

駒ヶ根での僕のスペイン語能力がどのくらい知っている人からすれば無謀だと思うでしょうね。協力隊の先輩に相談したらやはり無謀だと言われました。実際自分でもそう思います。だって毎日2時間講義を行うわけですから。

ただ講義は最低限必要な実務的な理論だけにするつもりで、ほとんどの時間は実習に充てようと考えています。

内容はコースをクラウンブリッジ(差し歯)・全部床義歯・部分床義歯・矯正歯科の四つに大きくカテゴライズし、それぞれ二科目を半年ずつ計一年行う予定です。一年目は基本的な知識と技術をカウンターパートと少しの学生に教える予定です。二年目はアドバンスコースを少しやり、あとはカウンターパートを講師にして学生をメインに教えていく予定です。

実際うまくいくかどうか自分でも疑問です。ここはニカラグアですから予想外のことも多いでしょうね。予定の70%できればいいほうで、半分ぐらいしかできないかも知れません。

最近では以前と比べカウンターパートといい感じで関係ができつつあります。講義に対して少しずつ前向きに受け止めてくれています。

理由は毎日技工操作を見せることで僕の技術と知識を認めてくれたことと、講義についても僕が意見を投げかけるのではなく、相手自身がどの様な技術を求めているか把握した上で、その解決法として講義を提案しているからかなと思います。

そりゃやっぱり学ぶのはニカ人のカウンターパートですからね。押し付けてもだめだろうし。

でも本当の大きな理由として講義に学生を絡めたことだと思います。普段彼らは学生に対して技工操作を指示していたりしますが、最初僕が学生をメインに教えようかと話を振ると案の定大反対でした。プライドを持っている彼らにとって学生が自分達以上に知識を持つことに危機感を感じたからでしょう。ですから逆に相手のプライドを利用して一年目僕と一緒に講義をみっちりやって、二年目は学生相手の講師として手伝って欲しいと投げかけたら予想通りの好感触でした。ニカ人の上司も賛成です、そのほうが有益ですからね。

(ケツケツケツ上手く餌に食いついたぜ！！僕の中の悪魔が笑います。)

それに学生と一緒にやればプロの職人であるカウンターパート達も、まさか学生よりも下手な仕事をするわけにはいなくなるでしょう。

なんにしても一人では準備ができないので、カウンターパート達やとにかく周りを巻き込み使える人は誰かれかまわらず手伝ってもらっています。上司の秘書のお姉さんから始まり、学生や掃除婦のおばさんまで。

使える人間はガンガン使う！！うーんこれって渡辺家の血筋・伝統なのかな？

みんなから少しづつエネルギーを貰ったり、また逆にカウンターパート達があまりにもマイペースでエネルギーを吸い取られたりしながらやっています。でもやっぱり色々つらいことがあったりして泣くことも多いんだらうな、などと思いながら準備しています。自分ができることなんて所詮小さなことだし、まあぼちぼちとマイペースでやっています。

いよいよ僕の講義が始まります。どうなることやら当の本人にも判りません、続きは次号にて、あしからず。

最近、孫悟空を手のひらに乗せて遊んでいるお釈迦様の気分を味わっている渡辺敬蔵。



みんなは元気に仕事していますか？僕は講義を毎日やっていて大変忙しいです。……と言いたいところですが、うそです。全然進んでいません。

何故かその説明をする前に今回は我が上司フェリックスを紹介したいと思います。(ちなみに名前の意味は幸福です)彼は笑顔の可愛いナイスミドルの歯科医で当ラボラトリオの責任者です。

彼はいつも僕のことを「ケイロー」と呼びます。何度「ケイゾー」だと言っても直ません。(俺は祝日じゃないっつーの)

僕は着任当初から仕事柄専門用語を使うのでスペイン語の仕事上の用語集が必要であることを再三進言してきました。

それに対し用語集はなく、インターネットで英語からスペイン語に換えることができるので、本人がやるとの事でしたが全然やっていないことが発覚しました。おかげで当然講義ができるわけではなく、結局私が地道に用語を調べました。

最初から自分で調べようかとも思ったのですが、そこまですると完全にオーバーワークになるし、大体本人が自分でやると言ったから任せておいたのに……って感じです。これでは足りない材料についても注文しているか疑問です。

それに学生の希望者が多かった場合を考えて面接日を事前に決めておいたのに、前日になって急に忙しいから変更したいと言い出し、それに伴い講義開始も一週間先送りすることになりました。

その後またカウンターパート達も講義が始まる直前に、やはり学生とは一緒に講義をしたくないと言い出し、それに伴い講義もカウンターパート用と学生用に分ける事になりました。

これは講義回数が2倍になり、仕事が増えることを意味しますし(おいおい、増え過ぎだって！近い将来スペイン語の鼻血が出るような気がします。)、だいたいこれでは学生を絡める意味がなくなります。

カウンターパート達に要求を呑む代わりに学生の講義で助手をしてアシストするよう伝えました。

この事で時間割りをやり直し、またまたスタートが遅れました。

講義を始める前から色々ありますが、大変だなといった思いよりも中々楽しませてくれるじゃないかと笑っちゃう気持ちが強いですね。

そんなこんなことがあり、いよいよやっと僕の講義が始まります！始まるでしょう！始まるはず！始まって欲しいな……本当に始まるのかな？

前回に比べ少し自信なさげのお釈迦様になっている渡辺敬蔵。



こんにちは。みんなは元気に仕事していますか？

僕のほうは先日とうとう洗礼を受けました。と言うのも多分屋台で食べたホットドックに当たったようです。4日間程四六時中お腹の中でカミナリが鳴りまくり、仕事でも仕事よりもトイレで過ごす時間が長いんじゃないかなと思うくらいでした。その後お腹も少し落ち着き大丈夫だろうと思って食べたハンバーガーに、またまた当たってしまいました。ハンバーガーの時は食べた瞬間、肉が少し生っぽくて本能的にやばいと思ったのですが、まあ平気だろうと思いたべたらこのざまです。ただ僕の場合このくらいですんで良かったようです。と言うのも食べ物関係で同じ隊員でもっと苦しい経験をした人がいます。季節柄食べ物には気をつけましょう！！

でも実際飲み水関係は既に完全にニカ人化していて、水道の水を家族同様ガンガン飲んでいきます。



さて仕事のほうはついに僕の講義が始まりました。

内容は月・水曜日に差し歯、木・金曜日に総義歯の講義をカウンターパートと歯科医師兼教授に、各曜日2時間づつ今年いっぱいまで行う予定です。また学生には差し歯の講義を週4時間行い、合計で週12時間講義しています。

参加者はカウンターパートの4人、教授1人、学生8人の計13人です。本当はもっと人数を増やしたかったのですが、施設や道具が足りないためこの人数になりました。でも僕のスペイン語能力の問題もあるし、今はこのくらいの人数でいいかなと思います。

今年の講義が上手いけば来年以降大きくすることも可能です。だから今年は来年の為に様子を見ながらぼちぼちやって行こうと思います。

今回驚いたことが二つあり一つは歯科医師兼教授が講義を受けたいと言ってきたことです。これは驚きと同時に自分でやったと思いました。

それは歯科医師のレベルアップが技術移転には必要不可欠だからです。つまり仕事を管理する立場の歯科医師が技工技術・知識を得ることによって他の技工士に対して教育、指導ができるようになれば全体的な底上げに繋がっていくからです。その教授もコスタリカで研修を受けたバリバリのエリートですが、今まで話したこともない人でした。この教授がなぜ僕の講義を受けたいと思ったか尋ねたところ、僕の仕事に共感したとの理由でした。

つまり僕は配属以来コツコツと歯の見本を毎日作っていますが、それをラボの入り口の一番目立つ場所に飾っていたら、それを見て僕の仕事に興味を示し学びたくなったとの事。正直うれしいですが、それ以上にプレッシャーを感じます。

ただこの時「技術」と言うものは凄いなと思いました。何故ならば話したわけでもないのに人が動いたからです。

もう一つは学生を募集した際のことですが、もし申し込みが殺到したらどうするかとの話をカウンターパートと相談したら、面接してかわいい女の子だけ採用しようなどと冗談を言っていました。

実際蓋を開けると希望者が来るわ来るわで、結局20名弱が応募して来てうれしい悲鳴をあげました。(でも大半が野郎でした。!Que lastima!)中でも笑ったのが歯学部の学生が彼氏を伴って来たのですが、この彼氏が講義を受けたいと言って来ました。でもこの彼氏は法学部で弁護士を目指していて、この彼氏に理由を尋ねたら自分の趣味として学びたいとの事。

当然僕としては丁重に断りました。(当たり前だって!!)

そんなこんなことがあり講義が始まりました。それで肝心な講義の感想は……とても今回書ききれません!

続きは次号にて、あしからず。



ここニカラグアではただ今雨季です。雨季といっても梅雨の様に一日中雨が降るのではなく、一日のうちに雨が集中的に降るか降らないかといった感じです。日中は暑いですが夜間は結構涼しくて快適です。

この雨季が半年続き、乾季に変わります。この雨季の期間中はニカの自然は生き生きします。ニカに来た当初は乾季でホームステイ先の牧場に行っても緑が無く、まるでサバンナのような感じでしたが、今は緑が豊かで緑色が眩しく目に映ります。年中通じて暑い国ですが、ニカ人に言わずとこの雨季がニカの冬にあたるとの事です。なんかとても変に感じます。だっていくら冬だと言っても日中気温は30度以上あるし、海水浴にも行くし、大体ここは北半球なのに今が冬だなんてやっぱり変でしょう。

こんな気候で過ごすニカ人に、日本の四季を教えてもピンとこないようです。だって「寒い」という感覚がなかなか判らないみたいですから。

さて僕は毎日大学で講義をしています。講義が始まってしまえばルーチン業務となる為、始まる前ほど忙しくありません。

ただ中々僕を楽しましてくれることがあり、退屈しませんね。例えば講義を始める前から、参加者にルールを説明しました。内容も遅刻しない・欠席しない・宿題をする・僕の指示を守るなど簡単なことです。そして参加者の条件としてやる気があることを言ったうえでこのルールを書いた用紙にサインをさせ、約束を守れとさんざん言いましたが、やっぱり守りません。一部の学生は欠席・遅刻するし、宿題もしません。

前回伝えたように希望者が多く、全員僕の講義に参加できるわけではありません。面接の際あれほど「やります。講義を受けたいんだ」と熱く語っていた学生が来なくなるのは、オイオイと思います。おまえら忍者ハットリくんか妖怪口先女かと言いたくなります。(言っても判んないって！)



まあ僕にも責任が無いわけじゃないとは思いますが、始まってから一週間すぎたぐらいで来なくなったことの責任を考えてもなんかねえって感じです。

僕のやり方として良くも悪くも相手の意思を尊重します。だからよくカウンターパート達や学生に言うのが「僕は知識と技術を教えることはできる、でもやる気を与えることはできない。だからやる気があれば教えるし、もしやる気がなければ教えたくないし無意味だ。お互い大人なんだからやるかやらないかは自分で決めなさい。」とよく言います。

だからこんなことは最初から予想していたことで、逆に残っている生徒は皆まじめでやる気があるようです。(よしよし！)

今回驚いたのは、結構カウンターパートがまじめに僕の講義を受けていることです。

まあ一日中一緒に僕と居る訳で、宿題をしなかった場合言い訳できないからか、なんて意地悪いことを考えたりします。

でも仕事が無いときに僕が言った宿題を黙々とやっている姿を見ると、心の中で頑張れよと呟きます。(ってというか実際言えよ！)

以前お知らせしたように着任当初、僕の言うことをあまり聞いてはくれなかったことを考えるとやっぱり嬉しいですね。まあその分相手からも僕の行動をチェックされているだろうから、仕事で相手よりいい結果をだせるようポコアポコでやっていきます。

今何事もぼちぼちにが口癖の渡辺敬蔵

PS 今回ニカ写真をヤフーのHPにアップしました。是非見てください。

<http://jp.y42.photos.yahoo.co.jp/rx78keizo>です。

今回内容的には仕事関係が多いです。では

写真を  
お借りしてみました



カウンターパート3人衆



僕とチコ・ベリーオス



ニカ人と飲み会



子ども達と



これがニカ飯



世界中に散っている協力隊同期のみなさん、こんにちは。元気に活動していますか？

もう早いもので任国に来て半年経ちました。つまりもう協力活動の1/4が終わってしまったと言うことです。おいおいまだ何もしてないよーといった感じの今日この頃ですが、ぼちぼちやっていきましょう。

今回は講義内容を説明します。差し歯の講義(学生とカウンターパート達の二部制)は歯の解剖学講義・実習と差し歯の作り方の実習に分けて行っています。もう一つは総義歯の講義・実習です。(対象はカウンターパート達) 歯の解剖学では最初に歯のスケッチをさせてそれぞれの歯の特徴をつかみ、その後我々の世界でカービングと呼ばれるものですが、石膏棒をナイフで削り、全く同じ形態に彫刻していく実習を行っています。この実技はとても重要でその人の仕事のセンスが一目で判ります。

まず最初にカウンターパートにやらせてみましたがやっぱり下手でした。どう表現したらいいか判りませんが、まだ日本の学生の方が上手く作ります。

次に学生ですがこれはもうどうしようもないです。どう頑張っても全く歯に見えません。以前ニュージーランドでイラン人が作った歯を見たとき以上の衝撃です。観たい人は写真を送りますから是非見てくださって感じです。

なんかナイフの持ち方もなくて、やっぱり日本人を含めアジア人は手先が器用だなと強く感じます。それにカウンターパートと学生両方言えるのが、スケッチの段階で歯の輪郭がつかめておらず、それに伴い彫刻も上手くできないようです。そのためスケッチをできるだけ上手く描くよう指導していますが、まだまだです。

続いて差し歯の実習ですが基本的にカービングと変わりなく、材料が変わっただけでワックスと呼ばれるロウソクみたいなものを温めて溶かし、歯の形に盛り上げていくものです。

最終的にはワックスで作った型を鑄造して、メタルに置き換え研磨して仕上げます。まだ最終工程までいっていませんが、カウンターパートはともかく学生は全く知識・経験がないため、準備段階からこれでもかっていうぐらいとんでもない失敗を数多くしてくれます。

例えばマージン(補綴物と歯の境目)を削ったり、模型がぼろぼろで全く高さが合わなかったり。数え上げたらきりがありません。臨床では全く使えないものばかりです。

僕のスペイン語の能力もあるし、僕はいちいち怒ったりしません。だって知識・経験がないのであれば失敗は当たりまえです。ただ僕がため息をつきながらフォローしていくだけです。



この学生達が卒業したあと技工士に技工操作を教えるのかと思うと、どうやって教えんのよって言いたくなります。

もう一つの講義の総義歯は参加者がカウンターパート達と教授のため、色んな意味で比較的平和です。

ただ学生・カウンターパート全員共通してかつどんな仕事でもいえるのが、歯科技工に関し理論がなっていないためか、基準がなく一定の方向性が見られないことです。

例えばこの講義では患者の口腔内を想定して、人工歯を一つ一つ手作業で並べていきます。前述したように仕事にいい悪いの基準がないため人それぞれ、また毎回排列が違っていて完成度のよしあしの差が激しいのがネックになっています。

以前お知らせしたように管理責任者がいないことの弊害が、ここに現れているように思われます。

今回僕がみんなに教えている基準とは80%~90%の患者が納得することができる技巧物を作ることです。抽象的な表現ですが、平たくいえばよくもわるくも個性的ではなく、万人受けする物を作ることが大前提だと思います。

だから今後の課題としてこの基準をつくりいかに守らすか、あと講義を行う中でいかにモチベーションを高く保つかですね。

どうやってこの事をこの孫悟空達と一緒にやっていくか考えるこの頃です。

最近ため息をつく回数が増えている気がする渡辺敬蔵